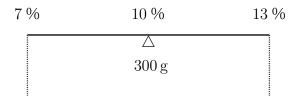
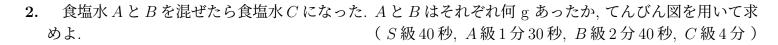
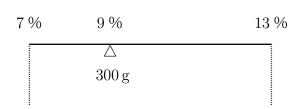
反射テスト 濃度(食塩水) てんびん図 基礎 01

1. 食塩水 $A \, \subset B$ を混ぜたら食塩水 C になった. $A \, \subset B$ はそれぞれ何 g あったか, てんびん図を用いて求めよ. ($S \, \otimes M \, \otimes$





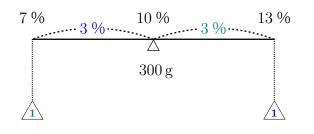


反射テスト 濃度(食塩水) てんびん図 基礎 01 解答解説

1. 食塩水 $A \, \subset B$ を混ぜたら食塩水 C になった. $A \, \subset B$ はそれぞれ何 g あったか, てんびん図を用いて求めよ. ($S \, \otimes A \, \otimes B \, \otimes$

★ 濃度 (こさ) の問題 \Rightarrow ② てんびん図 (面積図を用いても同じことができる.)

(1) $\begin{cases} 食塩水<math>A$ 濃度7% 食塩水B 濃度13% 食塩水C 濃度10% 300 g



★ てんびん図

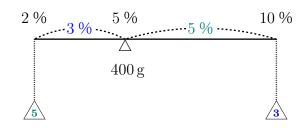
支点までの距離の比と重さの比が 逆比.

★ 濃さ3種類はてんびん図

混ぜるもの濃さ 2 種類と、できたものの濃さ 1 種類、合計 3 種類全てわかるときは、てんびん図で解く、

10% - 7% = 3% 13% - 10% = 3%⇒ 支点までの距離の比 3% : 3% = 1 : 1 よって、重さの比も $\triangle : \triangle$

Cの 300gを 1:1 に比例配分して, Aの重さ $300 imes \frac{1}{1+1} = \mathbf{150}$ g Bの重さ $300 imes \frac{1}{1+1} = \mathbf{150}$ g



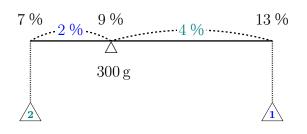
★ てんびん図

支点までの距離の比と重さの比が逆比.

★ 濃さ3種類はてんびん図

5% - 2% = 3% 10% - 5% = 5%⇒ 支点までの距離の比 3% : 5% = 3 : 5よって、重さの比は $\triangle : \triangle$ ★逆比

Cの 400gを 5:3 に比例配分して、 Aの重さ $400 \times \frac{5}{5+3} = \mathbf{250}$ g Bの重さ $400 \times \frac{3}{5+3} = \mathbf{150}$ g



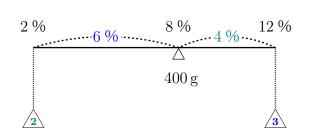
★ てんびん図

支点までの距離の比と重さの比が 逆比.

★ 濃さ3種類はてんびん図

$$9\% - 7\% = 2\%$$
 $13\% - 9\% = 4\%$
⇒ 支点までの距離の比 $2\% : 4\% = 1 : 2$
よって、重さの比は $\triangle : \land$ ★逆比

$$C$$
の 300 gを $2:1$ に比例配分して、
 A の重さ $300 \times \frac{2}{2+1} = \mathbf{200}$ g
 B の重さ $300 \times \frac{1}{2+1} = \mathbf{100}$ g



★ てんびん図

支点までの距離の比と重さの比が逆比.

★ 濃さ3種類はてんびん図

$$8\% - 2\% = 6\%$$
 $12\% - 8\% = 4\%$
⇒ 支点までの距離の比 $6\% : 4\% = 3 : 2$
よって、重さの比は $\triangle : A$ ★逆比

$$C$$
の 400 gを $3:2$ に比例配分して、
 A の重さ $400 \times \frac{2}{3+2} = \mathbf{160}$ g
 B の重さ $400 \times \frac{3}{3+2} = \mathbf{240}$ g